

男女共同参画ワーキング会議

「福津市男女共同参画ワーキング会議」は、テーマを定めて市民から参加者を募り、集まったメンバーで学習や交流を行う事業です。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の対策で、職場や学校の休業、外出自粛、在宅勤務により、これまでより家族と一緒に家庭で過ごす時間が増えています。一方、依然として子育て期にある男性の家事・育児時間は、女性と比較して少ない状況です。

そこで、男女共同参画社会を進めるため、女性も男性も家庭生活を両立でき、さらに地域生活や趣味などの個人の活動なども調和を図れるような環境を整えていくことが重要と考え、父親が育児に関心を持ち、積極的に関わることをテーマに、父親を対象とした父親養成講座（パパスクール）を実施しました。

「不屈（福津）のパパ養成講座」 ～パパの人生に磨きをかけよう～

◆企画・運営・講師

合同会社未来デザイン総合研究所代表
山根 佑介さん

◆会場：市健康福祉総合センター 3階 視聴覚室

◆参加者：のべ14名

第1回 9月29日（火）

○「パパ出番ですよ～！」

第1回目では、このワーキング会議（講座）で目指す目標の確認と、そのために、どのような手順で進めていくかを共有しました。講師からは、今回の講座の受講終了後に自分がどのような姿になりたいか等の目標設定が重要であるとの話がありました。

女性（妻）は会社の仕事により拘束される時間が長くなっているため、共働き世帯の女性（妻）は家事・育児時間や自由時間が取れなくなりつつある状況がグラフなどの資料で示されました。

男性が育児に協力すると出生率が上がるというデータがあることも示されました。

また、子どもとの接し方については、まずは「よいところ（長所）」を見ていくことが大切であるとの話がありました。

第2回 10月13日（火）

○「うまくいくパートナーシップの秘訣！」

第2回目では、「妻や子ども、職場でも役に立つ叱り方、褒め方について」のお話がありました。

子どもの叱り方の具体的な方法は「子どもを責めない」、「子どもに寄り添う」、「子どもたちの人格を否定しない」、「他の子どもと比べない」、「過去のことを言わない」、「成長と一緒に考える」、「叱った後は抱きしめる」（フォローする）の7か条でまとめられて、とても参考になる内容でした。

また、子どもや妻との関係で効果的な質問方法では、「なぜ？ どうして？」と強い口調で質問すると、回答者は言い訳を考え出しますが、「どうしたら、どのようにすればいいだろうか？」と質問をすれば、前向きになり「次にどのようにすればうまくいくのか。」を考えるきっかけになるとのことでした。

さらに、もし、「私に責任があるとしたら」と考えることで、相手のせいにならず、心に余裕を持つことで、良好な関係を保つことができると話がありました。



第3回 10月27日(火)
○「世界一受けたいお金の学校」

第3回目は、学校では習うことのなかった「お金」をテーマとしたお話がありました。お金に対する考え方を学ぶことで、お金の使い方はもちろんのこと、時間の使い方についても考えるというものでした。

時間(仕事をする時間)を使って、その対価として得られる「お金」は、仕事をしてくれた人へのありがたい「感謝状」であるとのお話がありました。

普段、深く考えることのない「お金」について、このように発想を切り替えれば、この世の中は「感謝」で循環していることに改めて、気づくことができるものでした。

そして、年中無休365日間、無報酬で子どもを育てている母親のことにも触れられ、「母親」への感謝や尊敬の気持ちが湧くような内容でした。

現代社会のように、仕事や生活などで忙しく、時間に追われると、「Time is Money」(時は金なり)と考え、行動しがちになるが、少し余裕を持ち「Time is Life」(時は人生)と人生そのものを楽しむ心持ちで生活を送るとよいとアドバイスがありました。



第4回 11月10日(火)
○「地域で輝くパパはかっこいい」

第4回目は、5年前に「パパスクール」を受講された方が特別ゲストとして参加しました。

その方は、受講後に育児や家事に関わるようになり、PTA活動や消防団活動を通じて地域での活動の輪を広げて、子どもたちの教育環境づくりに取り組んでいるとのことで、とても参考になる話でした。

先輩パパとして、他の受講者からの質問にも答え、アドバイスを送っていました。

講師からは子どもといっしょに地域活動への関わりを持つことが「子どものふるさとづくり」につながるとのお話がありました。夫婦関係でうまくいくコツは主観で考えず、「ジャッジしない」(よい、悪いを判断しない)ことが大切であるとアドバイスがありました。

また、「子どもは親(夫婦関係)をととてもよく見ている」ので家庭環境、教育環境をよくするためには、子どもたちに「笑顔」を見せ、輝いている大人を見せることだと語られました。

全4回を通じ、父親としての意識向上につながった講座となりました。

